



## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 大成ラミック株式会社

コード番号 4994 URL <http://www.lamick.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼管理本部長 (氏名) 木村義成

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長兼管理本部長 (氏名) 木村義成

TEL 0480-97-0224

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	14,235	9.5	1,517	1.1	1,532	1.3	878	7.4
22年3月期第3四半期	13,000	1.9	1,501	43.8	1,512	42.9	818	39.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	141.55	—
22年3月期第3四半期	131.81	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	16,047	11,199	69.8	1,803.94
22年3月期	15,383	10,762	70.0	1,733.53

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 11,199百万円 22年3月期 10,762百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	33.00	—	37.00	70.00
23年3月期	—	33.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	33.00	66.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,740	4.1	1,631	△7.5	1,636	△8.8	856	△7.2	137.88

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4 「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期3Q	6,300,000株	22年3月期	6,300,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

23年3月期3Q	91,518株	22年3月期	91,469株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期3Q	6,208,490株	22年3月期3Q	6,208,572株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	6
【第3四半期累計期間】 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
4. 補足情報 .....	9
生産、受注及び販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や企業収益の改善等によって景気は回復傾向にあるものの、為替相場の変動、国内のデフレ進行や厳しい雇用情勢等を受け足踏み状態が続き、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当軟包装資材業界におきましては、原油高騰による原材料価格の値上りや急激な円高の進行等により、業界各社における利益確保は予断を許さない経営環境が続きました。

このような状況下、当社のビジネスモデルである液体充填機と包装フィルムを提供する体制のもと、食品業界から洗剤・化粧品業界まで積極的な営業活動に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は142億35百万円（前年同期比9.5%増）、営業利益は15億17百万円（同1.1%増）、経常利益は15億32百万円（同1.3%増）、四半期純利益は8億78百万円（同7.4%増）と増収増益になりました。

#### [包装フィルム部門]

包装フィルム部門につきましては、液体小袋事業を主軸にアンプルカット等の新商品の拡販に注力したほか、大手即席麺メーカー等の新版受注の取り込みを積極的に行いました。また、生産数量の増加に伴い生産体制の見直しを図り利益確保に努めました。

その結果、包装フィルム部門の売上高は130億46百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

#### [包装機械部門]

包装機械部門につきましては、大手調味料メーカーの新設工場の大口受注に加え、既存充填機のアンプルカット対応改造等、食品メーカーの設備増強に伴う受注が好調に推移しており、前年同期の売上を大きく上回りました。

その結果、包装機械部門の売上高は11億88百万円（前年同期比72.1%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べ6億64百万円増加し、160億47百万円（前事業年度末比4.3%増）となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ8億45百万円増加し、112億86百万円（同8.1%増）となりました。主たる増加要因としては、営業活動の拡大等により受取手形及び売掛金が13億27百万円、商品及び製品が1億73百万円増加し、現金及び預金が5億33百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ1億81百万円減少し、47億61百万円（同3.7%減）となりました。主たる減少要因としては、建物・機械及び装置の減価償却費が建物・機械及び装置の取得額を上回り前事業年度末と比べ2億29百万円減少したことによるものです。

負債合計は、前事業年度末に比べ2億27百万円増加し、48億48百万円（同4.9%増）となりました。主たる増加要因としては、営業活動の拡大等により買掛金が5億62百万円増加し、未払法人税等が1億89百万円、賞与引当金が1億17百万円減少したことによるものです。

純資産合計は、前事業年度末に比べ4億37百万円増加し、111億99百万円(同4.1%増)となりました。主たる増加要因としては、業績が拡大したこと等に伴い、利益剰余金が4億44百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末の70.0%から0.2ポイント下降し69.8%となり、1株当たり純資産は1,803円94銭となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第3四半期会計期間末及び当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動による収入が3億12百万円、投資活動による支出が7億31百万円、財務活動による支出が4億15百万円あったことにより、前事業年度末に比べ8億33百万円減少し、当第3四半期会計期間末には16億89百万円となりました。

当第3四半期累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は3億12百万円(前年同期比55.4%減)となりました。

これは主に、売上債権の増加額13億27百万円、法人税等の支払額7億87百万円、たな卸資産の増加額1億21百万円があったものの、税引前四半期純利益が15億27百万円、仕入債務の増加額5億62百万円、減価償却費4億52百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は7億31百万円(同19.3%増)となりました。

これは主に、白岡工場環境対応設備及び本社新工場生産設備等の有形固定資産の取得による支出4億19百万円、定期預金の預入による支出3億円(純額)によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は4億15百万円(同11.4%増)となりました。

これは主に、配当金の支払額3億97百万円によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成22年5月10日付「平成22年3月期 決算短信(非連結)」記載の通期予想を変更しておりません。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響はありません。

### (3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,490,187	4,023,442
受取手形及び売掛金	5,826,011	4,498,505
有価証券	7,449	6,239
商品及び製品	1,310,913	1,137,412
仕掛品	335,733	376,022
原材料及び貯蔵品	112,311	124,480
その他	211,845	283,942
貸倒引当金	△7,573	△8,997
流動資産合計	11,286,879	10,441,048
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,800,649	1,845,185
機械及び装置(純額)	983,351	1,168,707
土地	1,072,072	1,072,072
その他(純額)	416,081	376,099
有形固定資産合計	4,272,155	4,462,065
無形固定資産	131,553	135,066
投資その他の資産		
その他	382,551	380,890
貸倒引当金	△25,178	△35,675
投資その他の資産合計	357,373	345,215
固定資産合計	4,761,082	4,942,348
資産合計	16,047,962	15,383,396
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,298,431	2,735,628
未払法人税等	274,623	463,660
賞与引当金	144,750	262,300
役員賞与引当金	16,012	21,350
株主優待引当金	43,346	59,157
その他	710,802	796,673
流動負債合計	4,487,966	4,338,768
固定負債		
退職給付引当金	219,925	178,501
役員退職慰労引当金	31,991	28,891
その他	108,320	74,500
固定負債合計	360,237	281,893
負債合計	4,848,203	4,620,662
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,408,600	2,408,600
資本剰余金	2,896,075	2,896,075
利益剰余金	6,122,703	5,678,483
自己株式	△209,118	△209,012
株主資本合計	11,218,260	10,774,146
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△18,502	△11,412
評価・換算差額等合計	△18,502	△11,412
純資産合計	11,199,758	10,762,734
負債純資産合計	16,047,962	15,383,396

## (2) 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	13,000,439	14,235,175
売上原価	9,636,075	10,818,404
売上総利益	3,364,363	3,416,771
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	391,236	407,937
貸倒引当金繰入額	48,057	—
役員報酬	77,851	83,322
役員賞与引当金繰入額	12,449	16,012
給料及び手当	425,751	450,219
賞与	96,109	91,227
賞与引当金繰入額	48,524	52,966
退職給付費用	44,122	46,364
役員退職慰労引当金繰入額	3,025	3,099
福利厚生費	79,367	83,561
旅費及び交通費	73,328	76,055
賃借料	149,371	147,009
消耗品費	48,211	43,445
減価償却費	83,965	66,117
株主優待引当金繰入額	—	43,346
その他	281,761	289,000
販売費及び一般管理費合計	1,863,135	1,899,685
営業利益	1,501,228	1,517,085
営業外収益		
受取利息	5,104	3,366
受取配当金	3,451	3,936
仕入割引	15	—
受取補償金	11,888	6,434
雑収入	3,918	8,941
営業外収益合計	24,378	22,678
営業外費用		
支払利息	271	786
売上割引	1,623	2,017
支払補償費	7,782	1,533
為替差損	—	2,774
雑損失	3,325	50
営業外費用合計	13,002	7,162
経常利益	1,512,603	1,532,602
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	1,956
役員退職慰労引当金戻入額	4,075	—
補助金収入	23,520	—
特別利益合計	27,595	1,956
特別損失		
固定資産除却損	115,028	6,979
特別損失合計	115,028	6,979
税引前四半期純利益	1,425,170	1,527,579
法人税、住民税及び事業税	494,106	612,130
法人税等調整額	112,675	36,633
法人税等合計	606,781	648,764
四半期純利益	818,389	878,815



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	1,425,170	1,527,579
減価償却費	450,859	452,771
貸倒引当金の増減額(△は減少)	46,783	△11,920
賞与引当金の増減額(△は減少)	△112,700	△117,550
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,100	△5,337
株主優待引当金の増減額(△は減少)	—	△15,810
退職給付引当金の増減額(△は減少)	33,846	41,424
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△247,600	3,099
受取利息及び受取配当金	△8,555	△7,302
支払利息	271	786
投資事業組合運用損益(△は益)	90	△1,199
補助金収入	△23,520	—
有形固定資産除却損	110,824	3,445
無形固定資産除却損	2,286	630
売上債権の増減額(△は増加)	△671,690	△1,327,506
たな卸資産の増減額(△は増加)	513	△121,043
仕入債務の増減額(△は減少)	128,989	562,802
未払消費税等の増減額(△は減少)	46,900	19,608
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△55,500	2,272
その他の流動負債の増減額(△は減少)	98,285	77,525
その他の固定負債の増減額(△は減少)	9,330	△1,455
その他	△7,971	10,572
小計	1,224,516	1,093,393
利息及び配当金の受取額	8,669	7,777
補助金の受取額	23,520	—
利息の支払額	△271	△786
法人税等の支払額	△554,619	△760,177
過年度法人税等の支払額	—	△27,230
営業活動によるキャッシュ・フロー	701,814	312,976
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,811,092	△6,100,588
定期預金の払戻による収入	3,718,509	5,800,386
貸付金の回収による収入	1,119	989
有形固定資産の取得による支出	△488,524	△419,136
有形固定資産の売却による収入	—	269
無形固定資産の取得による支出	△1,558	△7,160
投資有価証券の取得による支出	△35,011	△4,478
出資金の分配による収入	2,999	—
その他	343	△1,549
投資活動によるキャッシュ・フロー	△613,216	△731,267
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△4,397	△17,657
配当金の支払額	△368,282	△397,402
自己株式の取得による支出	△109	△105
財務活動によるキャッシュ・フロー	△372,789	△415,166
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△284,191	△833,456
現金及び現金同等物の期首残高	1,947,447	2,523,290
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,663,255	1,689,833

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当第3四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

当社の事業は、液体・粘体包装フィルム及び高速自動充填機の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## 生産、受注及び販売の状況

当社の事業は、液体・粘体包装フィルム及び高速自動充填機の製造・販売事業の単一セグメントであるため、部門・区分別に記載しております。

## (1) 生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績は、次のとおりであります。

区 分		生産高(千円)	前年同四半期比(%)
包装フィルム	液体・粘体自動充填用フィルム	9,992,938	+5.0
	ラミネート汎用品	2,468,839	+10.9
	その他	210,485	+2.0
	計	12,672,263	+6.0
包装機械	包装機械	622,016	+103.3
	その他	676,532	+66.3
	計	1,298,549	+82.2
合 計		13,970,812	+10.3

- (注) 1. 上記の金額は販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。  
 2. 包装フィルムの液体・粘体自動充填用フィルムには、粉末自動充填用フィルムが含まれております。  
 3. 包装フィルムのその他には、版代等が含まれております。  
 4. 包装機械のその他には、包装機械本体を除く周辺機器及び部品等が含まれております。

## (2) 製品仕入実績

当第3四半期累計期間における製品仕入実績は、次のとおりであります。

区 分	製品仕入高(千円)	前年同四半期比(%)
汎用フィルム	377,545	△0.9
合 計	377,545	△0.9

- (注) 上記の金額は仕入価格によっており、消費税等は含まれておりません。

## (3) 受注実績

当第3四半期累計期間における受注実績は、次のとおりであります。

区 分		受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
包装フィルム	液体・粘体自動充填用フィルム	10,133,211	+6.2	2,300,039	+14.4
	ラミネート汎用品	2,469,527	+12.3	186,744	+31.3
	その他	685,213	+0.6	111,781	+6.4
	計	13,287,953	+7.0	2,598,566	+15.1
包装機械	包装機械	632,671	+136.5	177,679	+218.3
	その他	814,156	+107.9	270,694	+265.4
	計	1,446,827	+119.5	448,373	+245.1
合 計		14,734,780	+12.6	3,046,939	+27.6

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2. 包装フィルムの液体・粘体自動充填用フィルムには、粉末自動充填用フィルムが含まれております。  
 3. 包装フィルムのその他には、版代等が含まれております。  
 4. 包装機械のその他には、包装機械本体を除く周辺機器及び部品等が含まれております。

## (4) 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

区 分		販売高(千円)	前年同四半期比(%)
包装フィルム	液体・粘体自動充填用フィルム	9,976,907	+5.1
	ラミネート汎用品	2,402,038	+11.5
	その他	667,495	+0.3
	計	13,046,442	+6.0
包装機械	包装機械	619,016	+98.0
	その他	569,716	+50.6
	計	1,188,732	+72.1
合 計		14,235,175	+9.5

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2. 包装フィルムの液体・粘体自動充填用フィルムには、粉末自動充填用フィルムが含まれております。  
 3. 包装フィルムのその他には、版代等が含まれております。  
 4. 包装機械のその他には、包装機械本体を除く周辺機器及び部品等が含まれております。  
 5. 輸出については、総販売実績に対する割合が100分の10未満であるため記載を省略しております。  
 6. 主要顧客については、総販売実績に対する割合が100分の10未満であるため記載を省略しております。